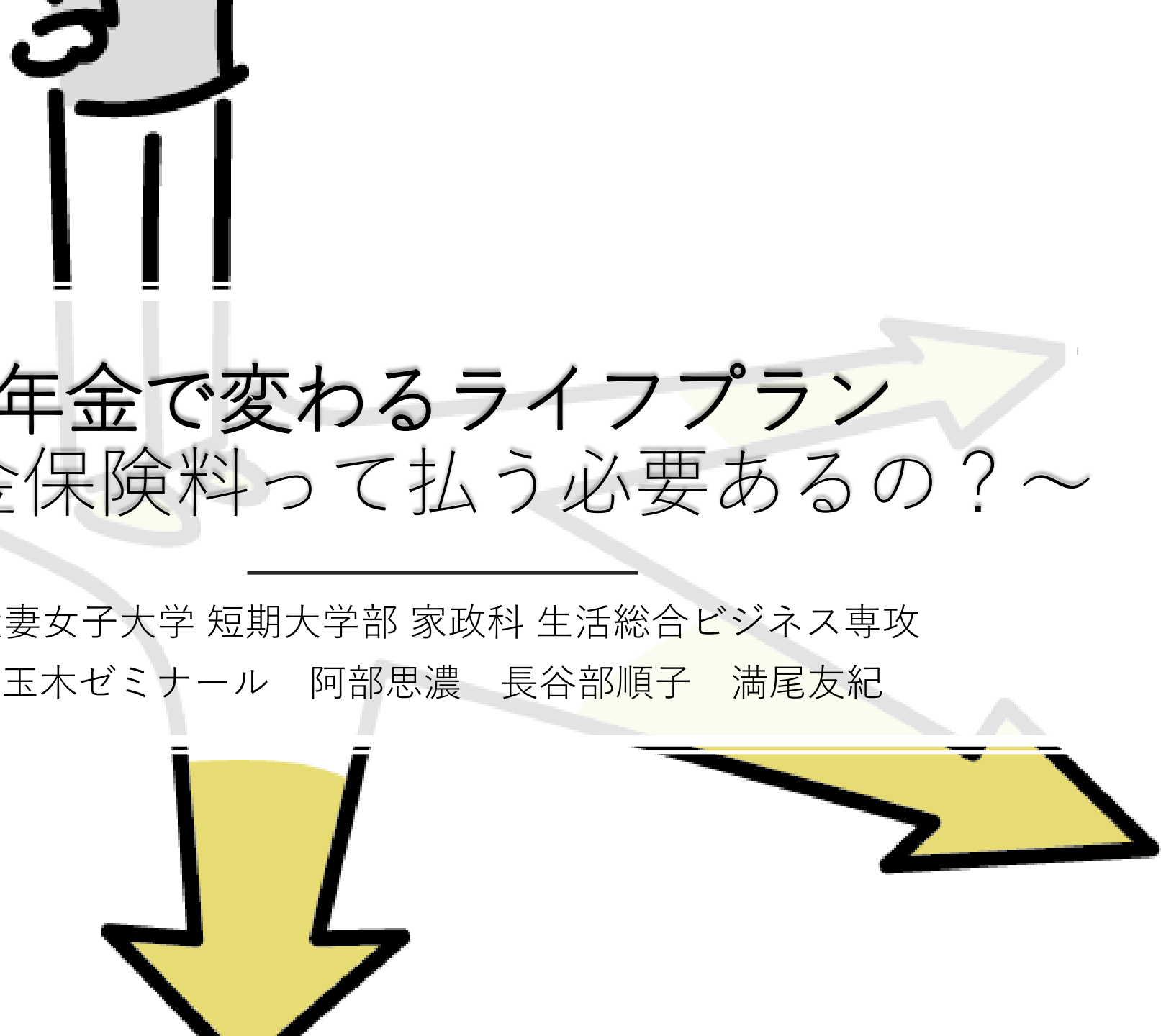




年金で変わるライフプラン ～年金保険料って払う必要あるの？～

大妻女子大学 短期大学部 家政科 生活総合ビジネス専攻
玉木ゼミナール 阿部思濃 長谷部順子 満尾友紀

目次

①- 1. 私たちの世代が抱く年金に対する不安と誤解

- 2. 年金の仕組みの考え方

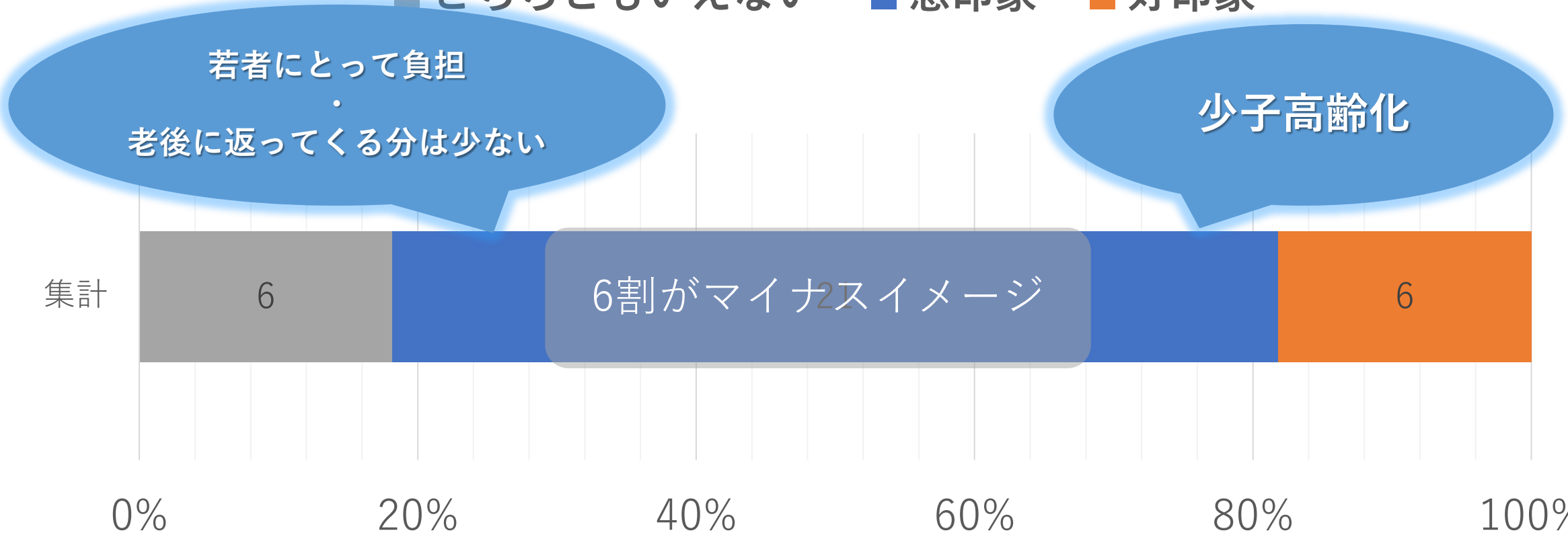
② 年金を利用したライフプランの考え方

③ 信認 ― 何をもって年金制度を信じるか

④ まとめ

年金への印象

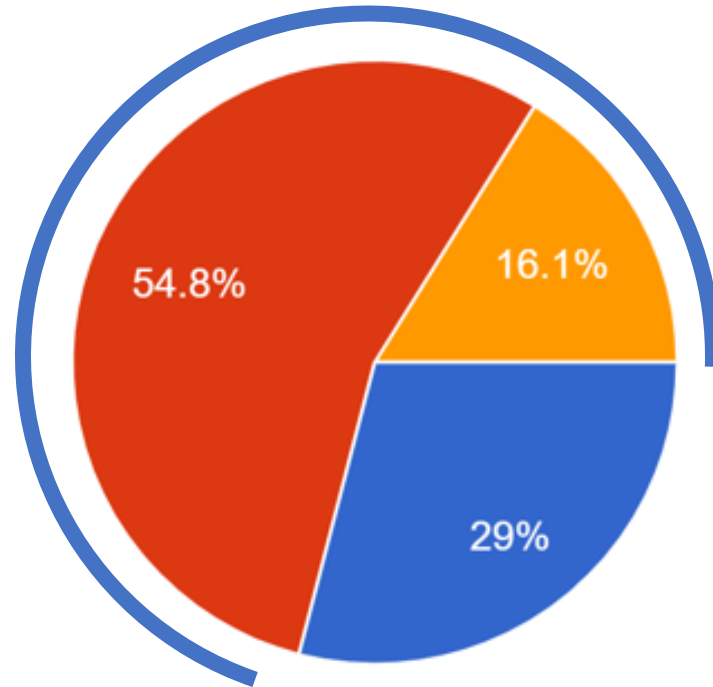
■ どちらともいえない ■ 悪印象 ■ 好印象



対象: 18~25歳の学生(男女) 34人
期間: 2022年08月27日~09月05日

年金を払うことについてどう思いますか？

31 件の回答



- 意味があることだと感じている
- 義務だから払うだけだ
- 払い損だと感じる

対象: 18~25歳の学生(男女) 31人
期間: 2022年08月27日~09月05日



約7割が年金保険料を払うことに
好意的ではない

自分達の世代は
もらえなくなりそう

支払額が高くなっている

少子高齢化で
若者の負担が大きくなっている

あんまり払いたくないけど
義務だから…

全然知らない

詳しくわからない



年金制度は少子高齢化で破綻するんでしょ？

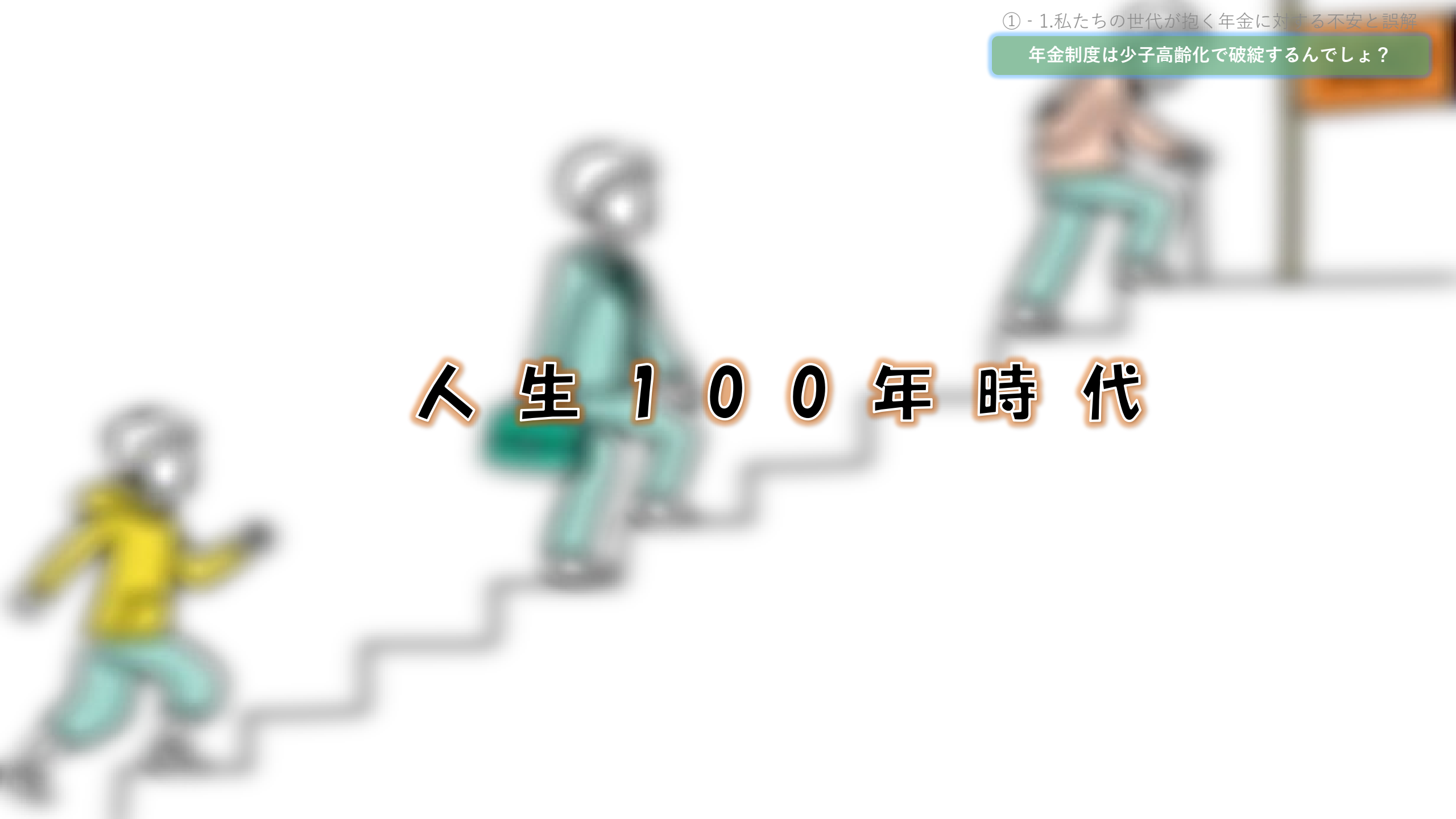
インフレ(物価上昇)や平均収入のことを考えたら、
高くなる年金保険料を払ってられない



年金制度は少子高齢化で破綻するんでしょう？



人生100年時代



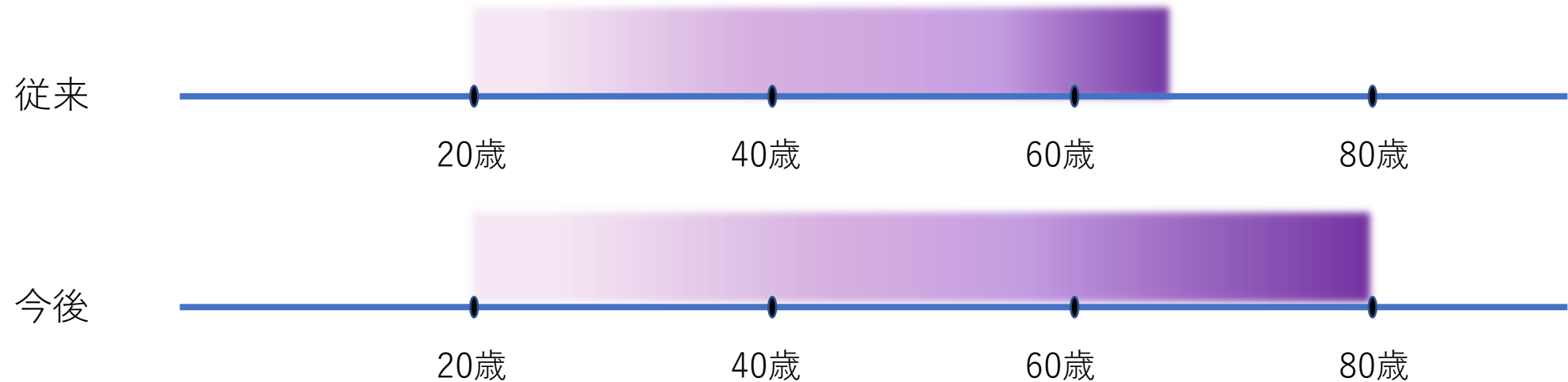
年金制度は少子高齢化で破綻するのでしょうか？

図6 高齢者の就業率の推移（2011年～2021年）



元気に働く高齢者
増加傾向

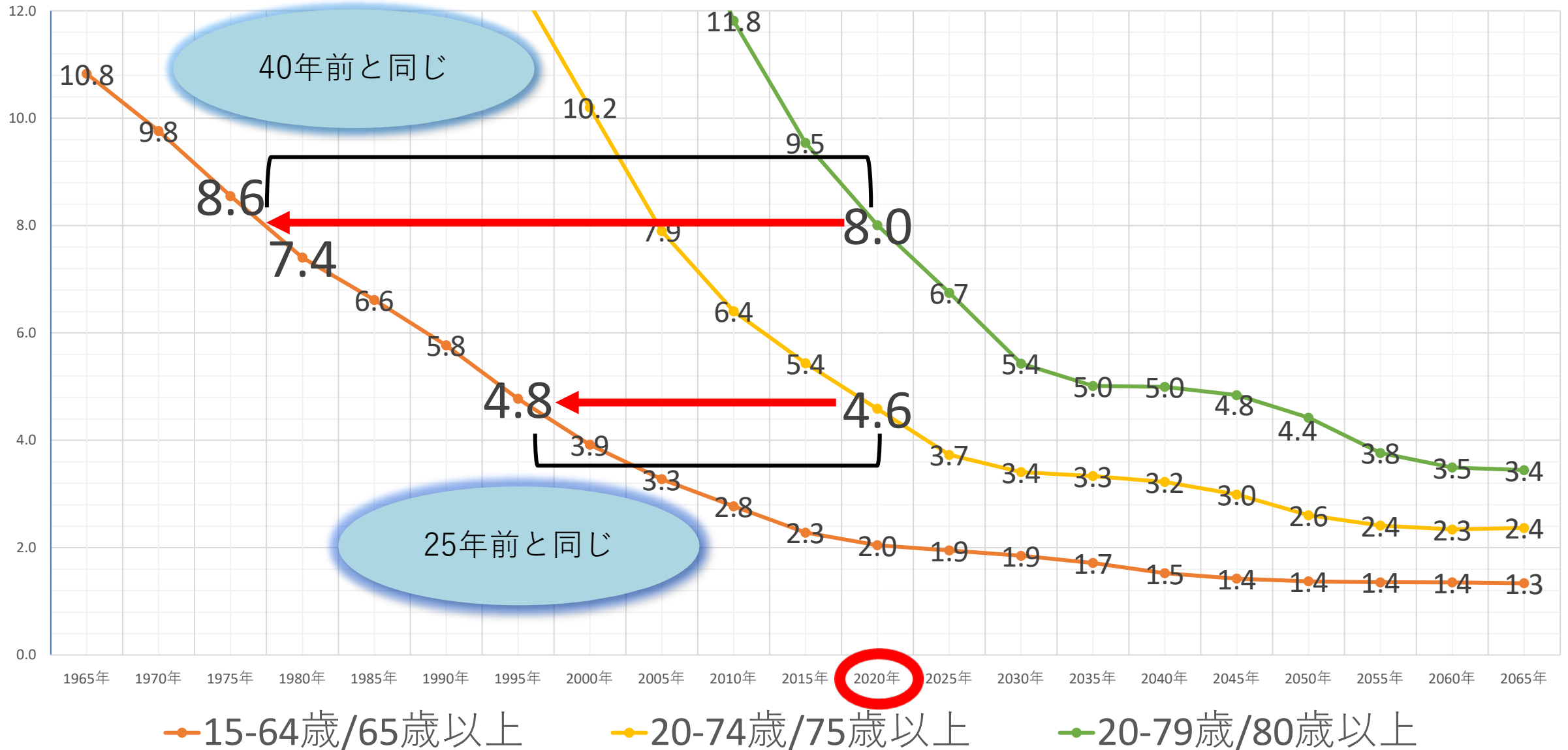
年金保険料を納める期間を伸ばせばいい



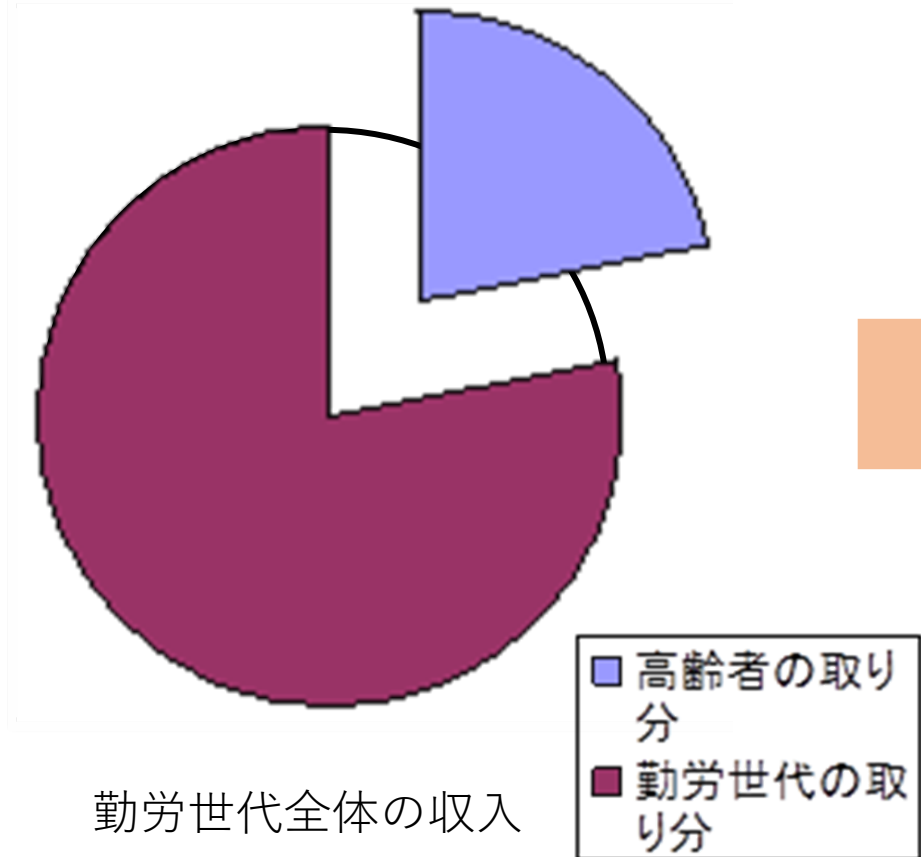
※現在は75歳までしか繰り下げできないが、今後制度を改正し80歳まで繰り下げできるようになるのが理想

Work Longer

何人で1人を支えるか



生産性向上



Work Longer

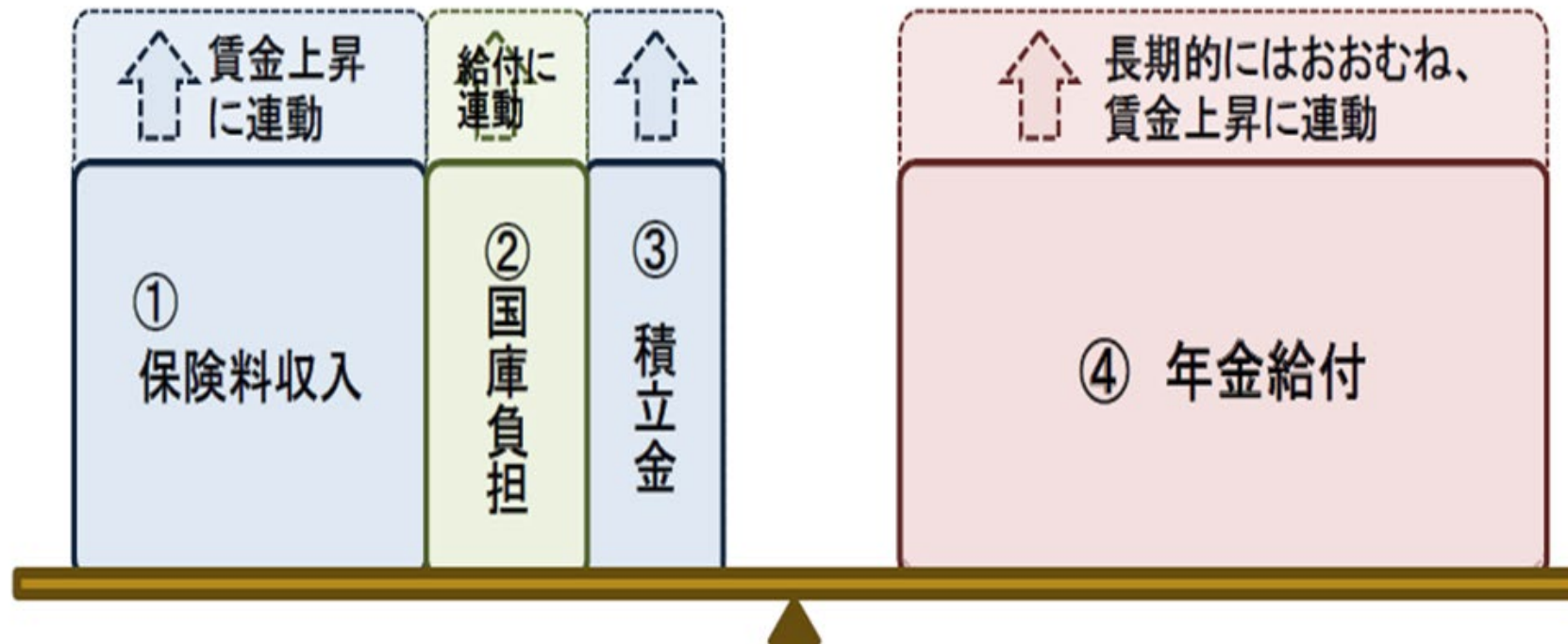
インフレ(物価上昇)や平均収入のことを考えたら、
高くなる年金保険料を払ってられない



インフレ(物価上昇)や平均収入のことを考えたら、
高くなる年金保険料を払ってられない？

年金の給付は物価と連動

物価上昇 → 賃金上昇 → 保険料増額 → **給付額増額**



インフレ(物価上昇)や平均収入のことを考えたら、
高くなる年金保険料を払ってられない？

年金保険料は高いから
払いたくないなあ



原因は~~年金制度~~？

賃金上昇が追い付いていないこと

年金制度やその仕組みについて…

全然知らない

自分達の世代は
もらえなくなりそう

詳しくわからない

少子高齢化で
若者の負担が大きくなっている

支払額が高くなっている



**若いうちに払って老後にもらえるなら
貯蓄でいいんじゃないか？**

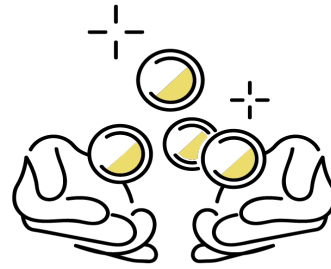
**年金は積立貯蓄に見えますが、
実は保険です！**



【火災保険の例】



火事で損害を被った人



保険会社

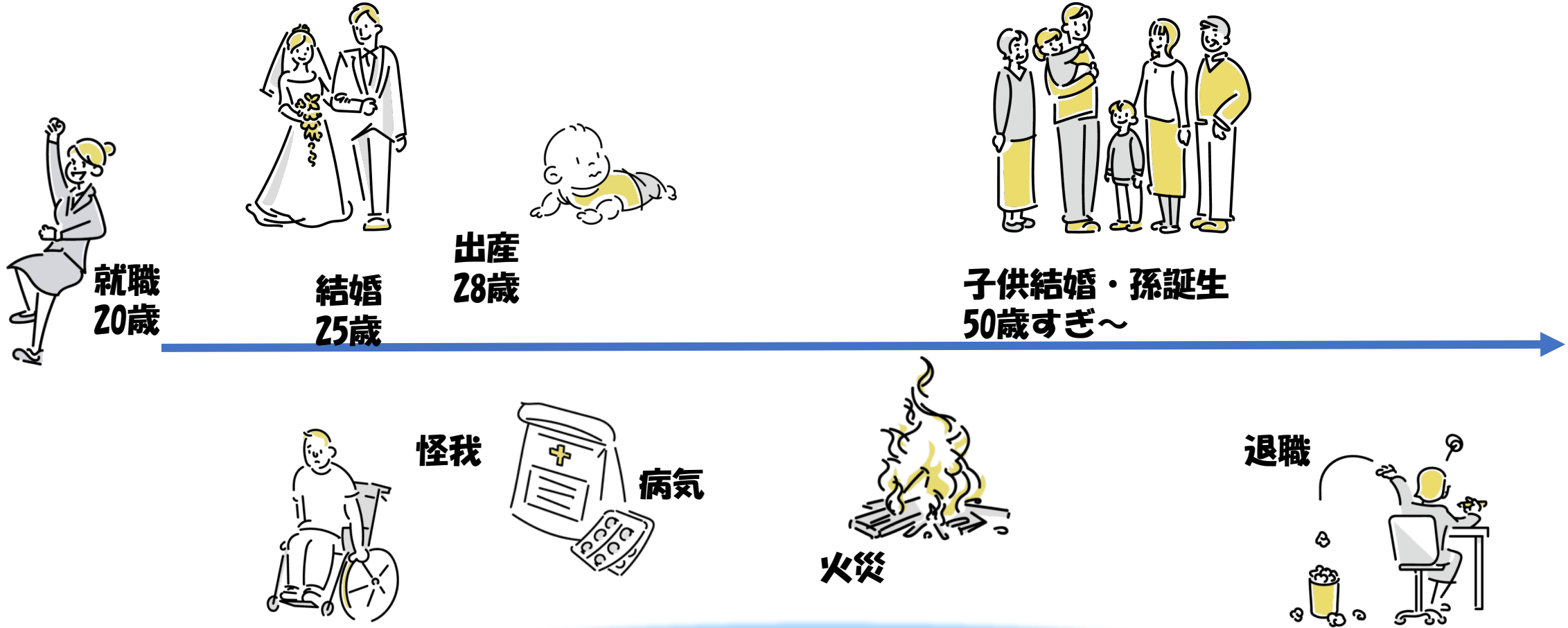


共助

保険加入者
保険料2万円×500人



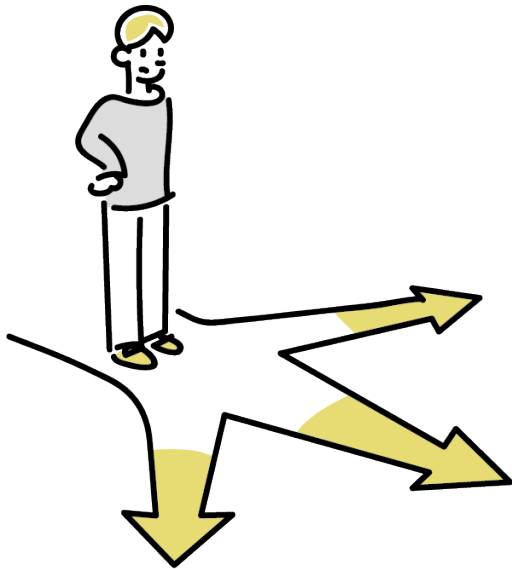
1000万円

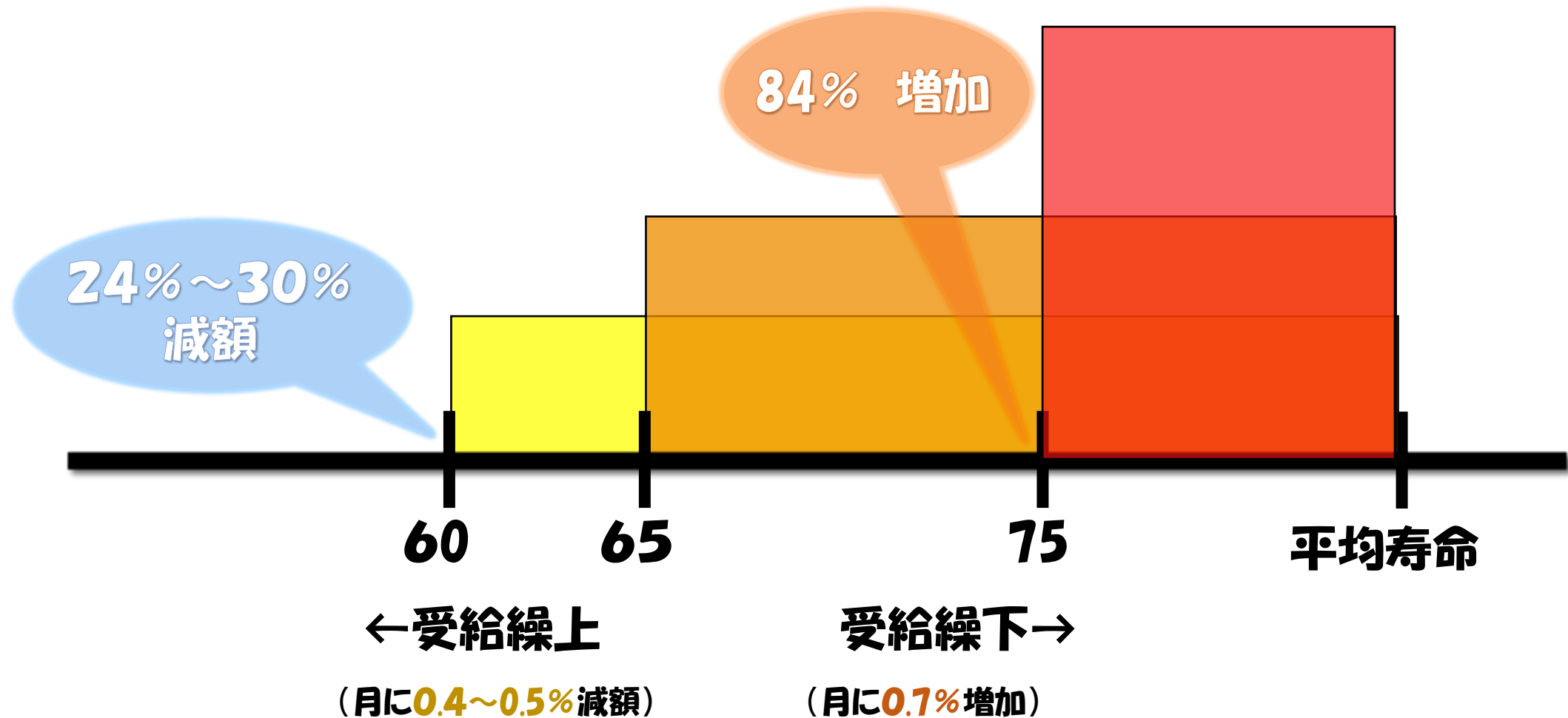


いつ起こるかわからない！
それらのために若いころから貯金をして備える…？

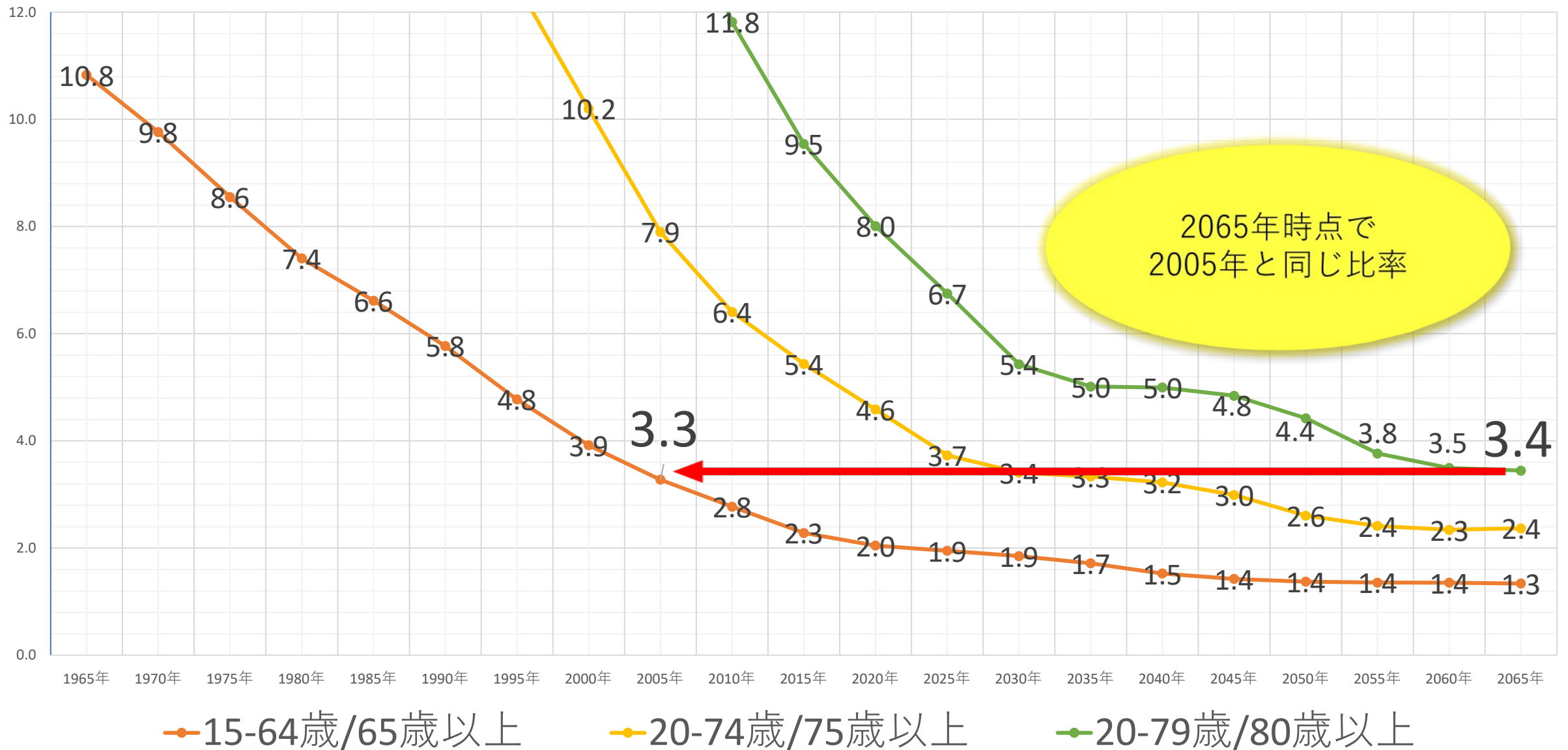
メリット①ライフプランの多様化

受給繰り下げ繰り上げによる選択の自由





基準は変わっていく

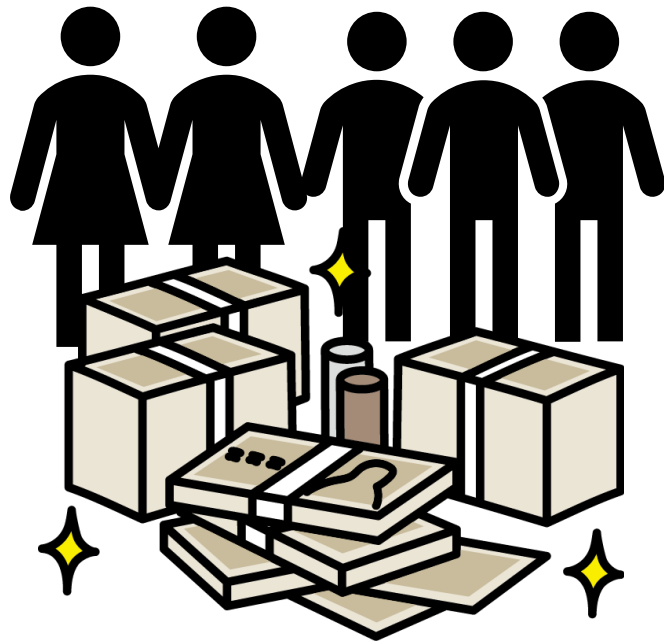


メリット②見通しやすいライフプラン

長生きリスクの解消
扶養負担の平準化



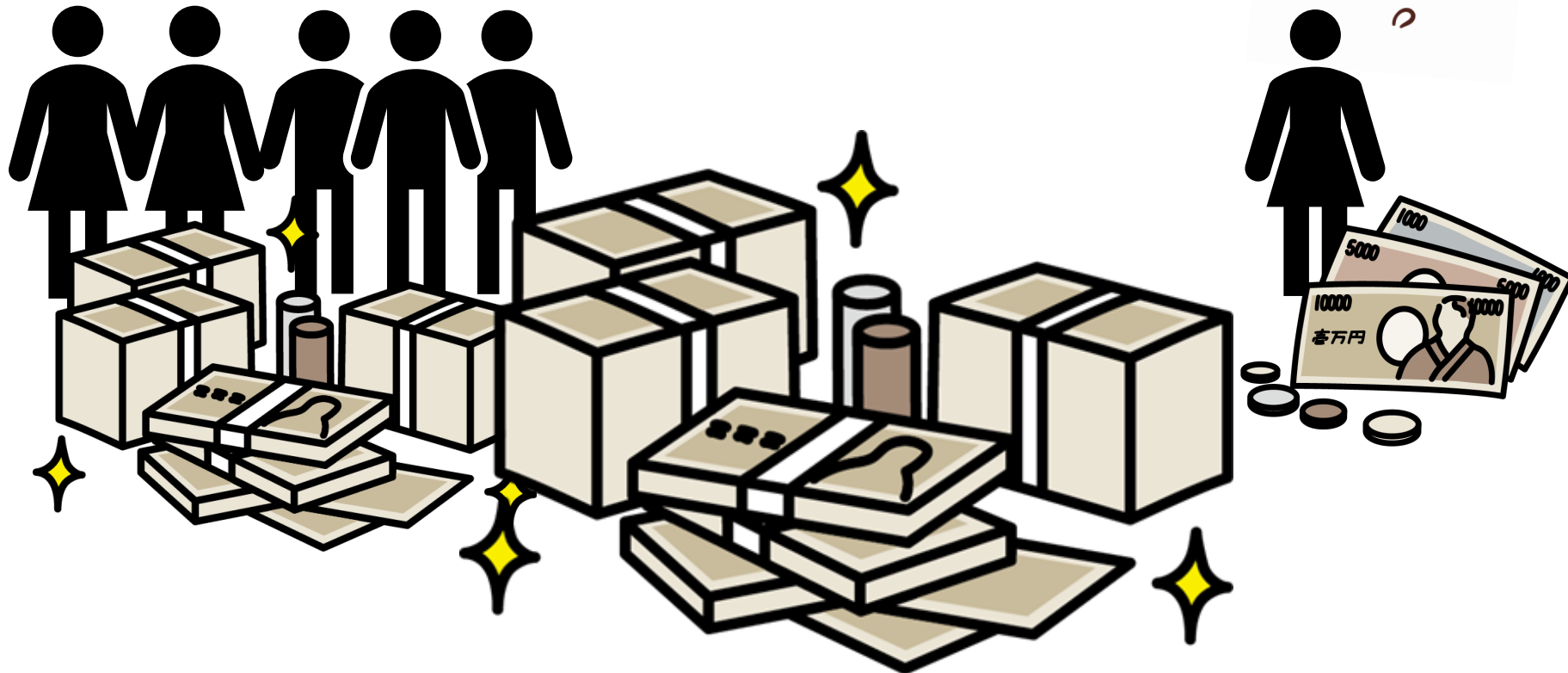
5人兄弟と一人っ子 平準化



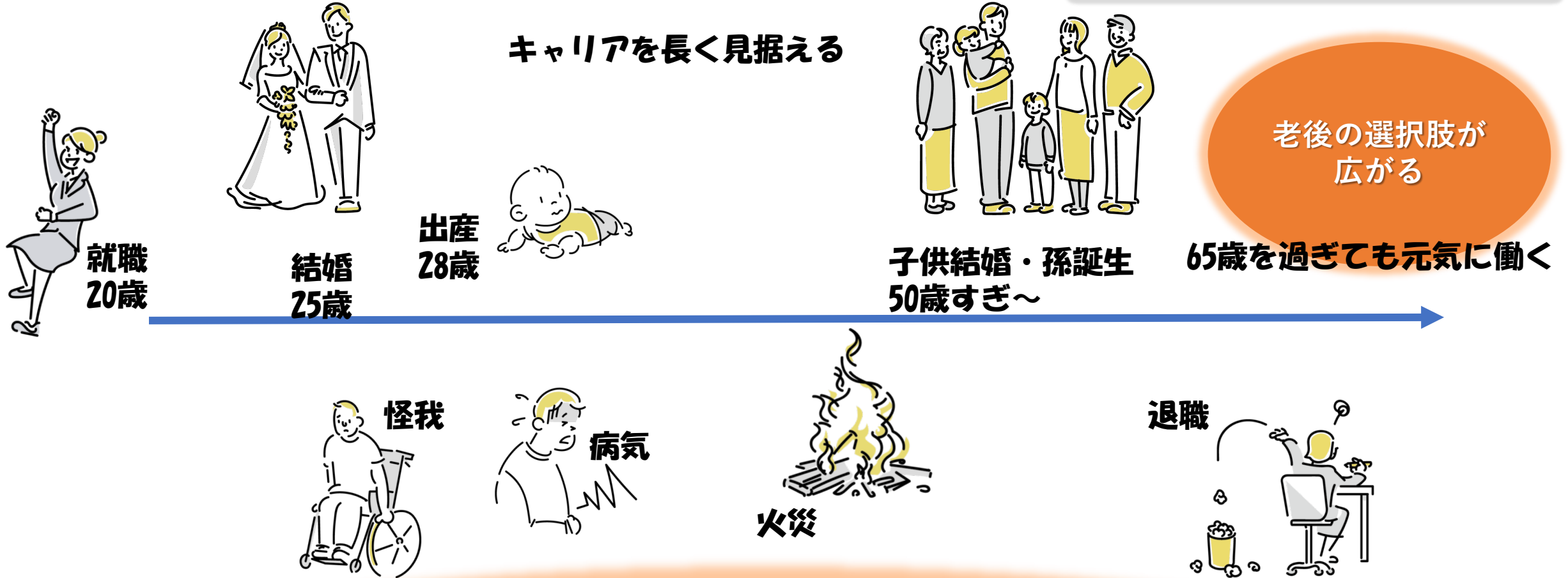
5人兄弟と一人っ子 平準化

年金制度

共助



年金制度がなかったら…



ライフプランがたてやすい
長生きに対する不安がなくなる

国民が皆信じていること…



経験がある 今すぐ経験できる



年金をもらって生活
する経験がない

信認できるポイント①

保険料の水準を固定している

保険料率は変わらない

支払う額が急激に増えない
安心



信認できるポイント②

物価上昇と連動して受給額も上がる

物価が上昇した場合…



私的年金

物価上昇に合わせて
運用する必要がある



公的年金

運用する必要がない

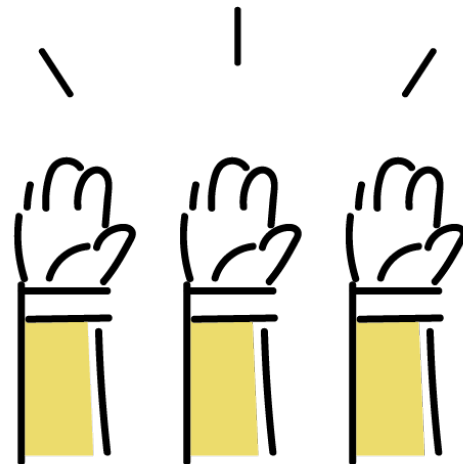
まとめ

- ① 知識不足による誤解が多く、そのため年金に懸念を抱いている人が多い。 年金に誤解を持つ人々が年金について学び直し、正しい知識を獲得することで、将来の不安を打ち消すことができる。 国民の年金に対する理解が、信認へとつながっていくだろう。
- ② 年金の仕組みやメリットを理解することで、自身のライフプランの見通しが立ち、選択肢の幅が広がり、多様な老後の過ごし方を実現できるようになる。
- ③ 生涯付き合っていく年金を信認・有効活用していくことが大事。 そのためには、長く働くという心構えが必要。

これからの世代は長く働く準備をしています。

だからこそ、安心してWork Longerできる制度を
整えてほしいと願っています。

厚生労働省の委員会の委員である玉木先生が
ちゃんとやってくれるかどうかをしっかりと見ていきたいと思います。



【参考】

- [統計局ホームページ/令和4年/統計トピックスNo.132 統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－/2. 高齢者の就業 \(stat.go.jp\)](#)
- [国立社会保障人口問題研究所HPより pyramidDataPP29J.xls \(live.com\)](#)